

採取場が所在する字などでも良い

採取場名 ○○(株) ○○採取場

事務担当者などの記入した者が署名する。

1 砂利採取法第32条の帳簿

(平成19年3月31日分)

記入者氏名: 房総 花子

一日の砂利の採取実績 事業者が把握している搬出数量 事業者が把握している搬入数量	採取総量	2,650
	切込	900
	洗浄	1,750
	砂利	175
	砂	1,575
	移入等の原砂量 計	750
	移入原砂	500
	購入原砂	250
業務主任者が砂利採取場において砂利の採取に従事する者を監督した日時およびその内容 業務管理者が採取場にいた時刻 記載例は一日に2回立入した場合 監督した項目として✓を記載した場合に、指示内容を記載する。	10時15分から	12時00分まで
	15時00分から	17時00分まで
	監督内容 (該当項目に「✓」)	指示内容
	✓ 掘削関係	表土置場に雨水が流入しないようにすること
	✓ 洗浄関係	投入薬品量は日々記載すること。
	✓ 防災施設関係	沈砂池の堰堤補強
✓ その他	採取場内への立入防止柵の補修	
災害の防止のために講じた措置 措置した項目についてその措置内容を記載する。措置した事項が無	項目	措置内容
	表土等の除去土砂の処理関係	表土置場周囲に土側溝を設置
	汚濁水の処理関係	汚濁水沈殿池の土堰堤を補強
	埋めもどし関係	深堀箇所への立入防止柵を設置
	その他	雨水誘導の土側溝の泥上げ
砂利の採取に伴う災害が発生した場合にあっては、災害の状況、その原因およびそれに対して講じた措置	別紙のとおり	災害が発生したときだけ、その概要を別紙に記載

2 砂利採取監督計画書に基づく監督の実施 (実施項目に「✓」を付す)

監督日: 平成20年4月1日

業務主任者氏名(自署): 千葉 太郎

業務主任者が監督終了後に毎回自署する。

✓ 採取場標識	✓ 洗浄装置の点検・整備状況	✓ 沈砂池の状況 (有効容量、立入防護柵等)
採取場区域標識	✓ 汚濁水処理装置の点検・整備状況	集水区域の状況
✓ 掘削区域標識	✓ 揚水水量	✓ 道路の清掃状況
✓ 掘削方法	✓ 汚濁水処理量	✓ 場内の砂塵の状況
✓ 法面勾配	✓ 薬品名及び投入量	✓ 場内の散水状況
✓ 小段幅、小段の間隔	✓ 脱水ケーキの発生量	周辺の人家・農地・道路等への影響の有無
警戒標識	✓ 脱水ケーキの堆積等処理状況	作業員の充足状況
立入防護柵	✓ 沈砂池の点検・管理状況	防災教育の実施状況
原石堆積状況	✓ ヘドロの処理状況	業務状況報告書の作成
✓ 表土等の堆積状況	✓ 製品の水切り状況	✓ 帳簿の記載
✓ 掘削用機械類の点検・整備状況	✓ 投入水量、補給水量の状況	監督を行った項目にレ点を記入する。
✓ 掘削の進捗状況	✓ 製品の堆積状況	
✓ 落とし込み高さ	✓ 製品の積込状況 (過積載、水垂れ)	
✓ 法面の帯砂の状況		

別紙

砂利の採取に伴う災害が発生した場合にあっては、災害の状況、その原因およびそれに対して講じた措置	発生日時	平成20年4月1日（火） 午前11時
	天候（晴雨、気温）	雨 気温15度
	発生場所	採取場南側 掘削区域
	作業区分	パワーショベルによる表土除去
	関係作業従事者数	1人
	災害の内容	パワーショベルにて表土を除去していたところ、パワーショベルが横転し、パワーショベルを操作していたオペレータが頭部、肩、膝に打撲を負った。
	原因	雨により、地盤が滑りやすくなっていたところ、パワーショベルの足場を平にせず斜面で操作したこと。
	講じた措置	平成20年4月1日午後3時に全作業員を集め、重機の作業を行う場合にはまず足場を確保し平らにしてから行うように徹底した。